

## 指定管理者評価シート

## 一 管理運営の状況

1 施設名	仙台市新田児童館		
2 指定管理者	特定非営利活動法人せんだい杜の子ども劇場		
3 指定期間	令和2年4月1日～令和7年3月31日		
4 施設の利用状況	《利用者数》	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 令和3年度 40,665人（前年度比 126.2%）</li> <li>・ 令和2年度 32,214人</li> <li>・ 令和元年度 50,680人</li> </ul>	
	《事業》	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 児童に健全な遊びを与え、その健康を増進し、情操を豊かにすることを目的とした児童厚生施設としての事業</li> </ul>	
5 収支の状況	《費用》	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 指定管理者に支払った費用 64,572千円 (61,746千円)</li> <li>・ その他市が負担した費用 0千円 (0千円)</li> </ul>	
	《収入》	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 使用料収入 0千円 (0千円)</li> <li>・ その他収入 0千円 (0千円)</li> </ul>	
6 利用者の声	《実施状況》	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 利用者アンケート、児童館運営委員会、児童クラブ保護者懇談会を実施。</li> </ul>	

( )は前年度決算額

## 二 管理運営に係る評価（モニタリングシートの結果によって評価）

評価分野	所見	評価
I 総則	「児童館ガイドライン」等に基づき、設置目的を踏まえた施設運営上の基本方針を定め、職員への共通理解を図るとともに、館内掲示等で利用者にも周知している。職員の倫理保持・服務規律遵守については、研修や会議で確認する取り組みを行っている。また、地域の特性やニーズを踏まえながら各事業に取り組み、施設目的の達成に努めている。	33/33
II 施設の運営管理体制	職員の配置や業務内容の共有、開館の実績、経理書類の作成、個人情報の保護等について適切な管理体制が構築されている。また、各種マニュアルの整備、施設内外の点検の実施により、利用者の安全に留意した運営に取り組んでいる。	29/30
III 施設・設備の維持管理	日常的・定期的な点検や清掃により、建物・設備・外構等が適切に維持管理されている。備品や鍵の管理も適切に行われているほか、施設内外の巡回や仙台市環境行動計画に則った取り組みも実施されており、安全で快適な環境が保たれている。	23/23
IV サービスの質の向上	リーフレットや児童館だよりの発行、ホームページの更新による利用情報の提供等、利用者が利用しやすい環境づくりに努めている。また、各種研修会への参加を通して職員の専門性を高めているほか、意見箱の設置、アンケートの実施等で利用者のニーズを把握し、施設運営に生かすなど、サービスの質の向上に努めている。	28/28
V 施設固有の基準	児童クラブにおいては、子ども達が安心して過ごせる生活の場を整え、学校を中心に各関係機関と連携して育成支援に取り組んでいる。また、乳幼児親子向けの行事開催や交流の場の提供により子育て家庭を支援すると共に、小中高生に対して、発達段階に応じた遊びの指導や活動支援を行っている。今年度においては地域との交流事業が多く休止されたが、日頃の情報交換や様々な工夫を凝らした事業で地域連携の保持に努めている。	19/18

### 三 評価総括

《指定管理者（特定非営利活動法人 せんだい杜の子ども劇場）による自己評価》
<p>○コロナ禍による活動制限の中ではあったが、地域と利用者の皆様に安心して参加してもらえるような行事計画を進めてきた。また、感染症対策として毎日の消毒を行い、7月に光触媒コーティングを館内に施工し、利用者にこれまで以上に安心・安全に利用してもらえるようにした。○児童クラブの4年生が地域最高齢者へ手作り花束をプレゼントし、とても喜ばれた。○地域の高齢者へ100枚のクリスマスカードを子どもが作成し、地域とのつながりをより深くできた。地域の皆様や児童の保護者からは児童館まつりの開催と一緒に盛り上げたいという声が多く、児童館への期待が高いことが窺える。○児童が度々不審な人物に声をかけられたことがあり、下校時とひとり帰りの際に通学路の巡視をして児童の安全に努めた。その後、地域の方と共に職員が仙台東警察署員から不審者対応訓練を受けた。○第17回全国児童館・児童クラブみやぎ大会の企画・実行委員として職員が3名、当日は殆どの職員が参加し研鑽を積んだ。オンライン開催であったが全国で900名を超える参加者があり、コロナ禍においても思いを繋げられることを実感した。○各行事においては参加人数の制限、消毒の徹底、マスク着用や常時換気など感染症対策をガイドラインに則り、仙台市と計画をやり取りして臨んだ。「親子夕涼み会」「ハロウィン」「クリスマス会」などは参加した幼児・児童の保護者に好評だった。常盤木学園音楽科の生徒6名によるオータムコンサートは参加した乳幼児の保護者がとても感動していた。○SOATとのワークショップの一つ「モザイクアート」では子ども同士で教え合い、作り上げたことで自主性と協調性、大きな達成感が育まれた。「坪沼自然体験」は5回行った。保護者からは参加して自信がついたこと、子どもとの会話が増えたこと等、子どもの内面的な成長だけでなく子育て支援にも繋げることができた。</p>

《施設設置者（仙台市）による評価》	総合評価
<p>令和3年度は、新型コロナウイルス感染拡大防止に係るまん延防止重点措置や宮城県・仙台市緊急事態宣言、宮城県緊急特別措置等の発令があったが、児童クラブに関しては、年間通して受け入れを行った。この間、小学生や乳幼児親子の自由来館などは一部は休止としていたが、解除後も小学生の自由来館は土曜日のみ、乳幼児親子は平日午前のみと制限のある再開となった。年間を通して、感染症対策のための参加人数の制限や環境の工夫を行うなど様々な配慮と努力をしながらの児童館運営だった。</p> <p>児童健全育成事業においては、「ハロウィン」を実施日や時間を分けて参加人数を増やしたり、バレードが難しいため館内で扮装した職員を探すなど内容を工夫して開催した。「クリスマス会」は児童の発表会として開催した。多くの児童が発表し自己発揮できる場・自己肯定感を感じる場となると共に、乳幼児親子や保護者が日頃の子ども達の様子や成長を知る機会となった。</p> <p>子育て家庭支援事業においては、保護者のニーズを受けて「だっこおんぶ講座」を開催したり、新たに「ほっこりサロン“じいじばあばと遊びのひろば”」として工作や季節のお楽しみなど様々な企画で毎月開催した。近隣の保育施設、民生委員や地域の支援者の方々の協力を得て開催するこれらの事業を通して、世代間交流を図ると共に地域が一体となって子育て家庭を支援する環境作りに努めている。</p> <p>地域交流推進事業においては、SOATとの連携事業の「そあとの庭」で森林体験や遊び場作りなど多彩な自然体験を継続して実施し、子どもの豊かな育ちを促している。児童館便りに「はんざわさんの自然となかよし」の記事を毎月掲載して地域からも好評を得ており、記事をきっかけに保育施設との交流が始まるなど児童館事業の認知向上につながっている点が評価できる。</p> <p>放課後児童健全育成事業においては、夏の時期にプール遊びができないため、コミュニティセンターや学校の協力を得ながら「本館・サテライト共に水遊びの機会を設け、好評を得た。不審者情報がある際には、交番と連携を図り見回りを強化してもらったり職員が通学路の見守りをして児童の安全確保に努めた。</p>	S

### 四 その他特記事項（上記評価項目の他に、指定管理者の優れた取組み等、特に記載すべき事項があれば記載する）

特記事項

◎ 評価担当課（施設所管課）：子供未来局子供育成部児童クラブ事業推進課